

桐生西ロータリークラブ週報



2014-15年度RIテーマ **ゲイリー C.K.ホアン RI会長**

LIGHT UP ROTARY **ロータリーに輝きを**

例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30
例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi

会長 向田 靖 広報活動委員長 新木明夫 広報活動委員 金子福松・岡田善孝・栗原秀一
幹事 横塚直人 クラブ会報・雑誌担当 鳥嶋隆一 羽鳥 隆 (歴史編集・IT・CICO担当)

No. 1970

2015年1月30日発行

第2092例会 (2015・1・23) 報告

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 点 鐘 | 9. 食 事 |
| 2. ロータリーソング | 10. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 11. クラブフォーラム |
| 4. 物故会員追悼 | 『前期の活動報告と後期の活動計画』 |
| 5. 米山功労者感謝状授与 | 12. 新会員卓話 野村 滋君 |
| 6. 新会員推薦者のための認証プログラム認証ピン授与 | 13. 点 鐘 |
| 7. 会長報告 | 14. ロータリーソング |
| 8. 幹事報告 | |
- 例会終了後理事会開催

◆ピジター

桐生赤城RC 清水 哲 君

◆物故会員追悼

ロータリー創始者 ポール・ハリスの命日である1月27日を含む週はロータリーの追悼週間です。
当クラブの物故会員は、昨年8月4日にご逝去されました名誉会員 星野精助様を含めて20名です。
我がクラブの発展に貢献された物故会員に、謹んで哀悼の意を表し、黙祷を捧げました。

◆米山功労者感謝状授与

〈第1回〉
福島賢一君



◆新会員推薦者のための認証プログラム認証ピン授与



ブロンズ受賞
小林 聡 君

3名の新会員推薦に対して
園田誠司君
服部裕樹君
石戸悦史君

◆会長報告

向田会長

1. 17日(土)に桐生5RC会長幹事会が行われました。内容は主にIMについてでした。IMは、2月21日

(土)桐生市市民文化会館で、第1分科会と第2分科会に分かれて行います。またIM終了後、竹内ガバナールーム歓迎会を兼ね懇親会を行います。既に皆様にご案内をお送りしてありますが、多くの参加お申込みをお願い致します。

また、桐生5RC合同群馬大学理工学部留学生交流会を4月25日(土)に行う事になりました。追ってご案内致しますので、そちらもご参加ご協力をお願い致します。

2. 今(18~25日)、米国サンディエゴで国際協議会が開催されています。そこで、次年度のRIテーマが発表されました。『世界へのプレゼントになろう』です。詳しくは配布してありますクラブ会報をご覧ください。

◆幹事報告

横塚幹事

- ◇本日例会終了後1F和室で理事会を行います。
- ◇新年初例会の写真を該当者に配布致しました。
- ◇沼田RC1月から例会場変更のお知らせ(新会場:ディラン)
- ◇下記のものが届いております。
 - ・桐生市社会福祉協議会から「福祉ぐんま2015冬号」
 - ・株オクトンから次年度RIテーマ幕・名刺等のリーフレット
- ◇例会変更のお知らせ
 - 桐生南RC 2/11(休)、2/18、2/25(休) 沼田中央RC 2/12
 - 桐生中央RC 2/19、2/26 前橋RC 1/27、2/24、3/31(休)
 - 桐生赤城・安中RC 2/24 前橋南RC 2/4、2/11(休)、2/18
 - 藤岡RC 3/5 藤岡南RC 3/6 沼田RC 1/27
- ◇クラブ会報が到着しています
 - 桐生RC 1/5 桐生中央RC 1/8、1/15 桐生赤城RC 1/6
- ◆食事メニュー 1255キロカロリー
 - 海老グラタン、鶏団子とトマトのスープ、海藻サラダ、ツナともやしのナムル風、白飯、香の物、苺ミルクプリン

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告

栗原(幸)出席担当

総数65名 (免除者9名のうち4名出席の為5名を除く)

出席率対象者60名、 出席率対象者出席人数45名
 欠席者15名(内前メイク3名) 出席率80.00%
 前々例会修正出席率87.10% (最終欠席者8名)

□**拠金委員会**

◇**ニコニコBOX**

井本拠金委員

新入会員最後の仕事卓話がんばります 野村君
 野村滋君の新会員卓話楽しみにしています
 向田君、青山君、中野君、七五三木君、
 井本さん、霜村君、家住君、野田君
 クラブフォーラム宜しくお願いします 横塚君
 新年会ではお世話になりました 福島君
 SAAの花房です。後半も宜しくお願いします 花房君
 正月気分が抜けません 阿左美君
 次回お休みします。宜しくお願いします 河内君
 皆さん風邪に気を付けましょう 高森君

◇**ロータリー財団**

早川拠金委員

卓話がんばります 野村君
 野村滋君の新会員卓話楽しみにしています
 中野君、七五三木君、井本さん、花房君、前原君
 星野幸男さん、ご協力に感謝申し上げます 家住君
 新年会ではお世話になりました 福島君
 出席100%頂きました 小林(恵)君
 孫の受験が真っ盛り 阿左美君
 次回お休みします。宜しくお願いします 河内君
 税務署がやっと帰りました 青山君
 インフルエンザに気をつけて下さい 乾君
 明日は大相撲観戦です 江原君
 ホンダF1に復帰、メルボルングランプリ楽しみです 野田君

◇**米山BOX**

七五三木米山奨学担当

一生懸命話しますので良く聞いて下さい 野村君
 野村滋君の新会員卓話楽しみにしています
 中野君、青山君、井本さん、花房君、前原君
 クラブフォーラムで報告の皆様ご苦労様です 乾君
 後半期も例会プログラムにご協力をお願い致します
 家住君
 会員増強にご尽力頂き誠にありがとうございます 野田君
 新年会ではお世話になりました 福島君
 出席100%頂きました 小林(恵)君
 先週は風邪で休みました 阿左美君
 次回お休みします。宜しくお願いします 河内君

◆**クラブフォーラム**

前期の活動報告と後期の活動計画



S A A

花房 孝道

SAAの後半の活動方針を発表致します。

そもそもSAAとは何か?「Sergeant at Arms」の略で、武装軍曹の意味で、本来は英国王室や議会の守衛官のことを言います。

その由来は、古くイギリスの封建時代にさかのぼり、国王や領主の行う各種儀式において秩序を乱すのを防ぎ、儀式を監督することを職務として、武装していたそうです。その制度が、アメリカの議会に導入され、ロータリークラブにも及んだものです。

クラブの例会や会合で、気品と風紀を守って会合の目的が発揮できるよう設営し、監督する責任があるの

がSAAだそうです。

この様な役割を斎藤政治君、小林聡君と一緒に下半期も務めますので、ご協力よろしくお願ひします。

後期は、前期同様に喫煙所を設けますので、分煙にご協力ください。また、結婚・誕生祝いの第2例会には、席をくじによって決めます。これは、新会員が多く、なかなか名前と顔が一致しないことがありますので、後半も月に一度実施いたします。

3月20日は桐生赤城RCと夜間合同例会があります。今回の運営企画は当クラブ担当なので、理事会に諮って楽しい例会になるよう努めます。

年度末のさよなら夜間例会は、向田年度の最後の例会となりますので、3名のSAAで楽しいさよなら夜間例会を企画します。皆様、乞うご期待下さい。

後半も、会員皆様のご協力を宜しくお願ひ致します。



広報活動委員長

新木 明夫

先ず、広報活動委員会の前期の活動報告を申し上げます。

【**クラブ会報**】

(1) 7月8日(火)、大間々高校進路支援講話が、青山豊会員が講師を務め、行われました。その取材を上毛新聞社と桐生タイムス社に依頼し掲載され、クラブ会報にも掲載しました。

(2) 7月9日(水)、みどり市役所笠懸庁舎へ、石原市長表敬訪問の為、向田会長・横塚幹事そして新木広報活動委員長の3名で伺いました。また、同日、桐生市役所へ、亀山市長の表敬訪問を、当クラブ会員の桐生市議会議員・福島会員も加わり行いました。

両市長に、ロータリーの活動、今年度の向田新会長の活動方針などを説明しながら、和やかに歓談させて頂きました。

また、同上の趣旨と、当クラブの今年度の外部や地域社会に向けた活動に対する取材と報道のお願いを兼て、上毛新聞桐生支局と桐生タイムス社を、会長・幹事・広報活動委員長の3名で訪問致しました。後日、その模様が桐生タイムス紙面に掲載され、クラブ会報でも紹介しました。

(3) 桐生タイムス紙に暑中見舞い広告を掲載しました。

(4) 恒例の大間々高校就職希望の生徒さん対象に、近藤・下井田・横塚・東郷(学)・根本・花房各会員6名により模擬面接が8月26~28日の3日間に亘り行われ、上毛新聞社・桐生タイムス社に取材依頼し、その模様が掲載され、同時にクラブ会報にも掲載しました。

(5) 10月24日、第2081例会に行われた施設優良職員表彰の取材を、上毛新聞社・桐生タイムス社にお願いし、桐生タイムス紙に掲載されました。クラブ会報でも掲載しました。

(6) 11月28日、第2086例会を職場訪問並びに地区補助金贈呈式を兼ねて、補助金贈呈先の「はーとふるチハヤ」で行われ、上毛新聞社・桐生タイムス社に取材依頼し、桐生タイムス紙に掲載されました。この例会では、新会員の入会式も行われ、その後、施設内を見学し解散となりました。その様子をクラブ会報で紹介しました。

【雑誌・「ロータリーの友」】

今年度、向田会長の方針の1つに「ロータリーの友」誌を熟読することにより、ロータリーをより深く理解して頂くこととあります。その趣旨のもと、当委員会雑誌担当の鳥嶋パスト会長に、友誌が配布される例会で、ためになる記事、興味ある内容、R I 情報などを紹介して頂いております。後期も鳥嶋雑誌担当にはご尽力頂きたいと思います。

また、クラブ会報作成にあたり、取材・編集・作成と事務局の清水さんには大きな協力を頂き、伝統ある桐生西ロータリークラブ会報が、今年度前期も順調に発行できましたことを感謝いたします。特にR I 情報や地区からのインフォメーションをタイミング良く掲載してくれました。後期も宜しくお願い致します。

次に後期の活動計画ですが、年度の初めに発表し、現況報告書に記載した計画で施行して行くことになるとあります。ただ、新しく加わった大きな行事がありますので、この事だけ後期活動計画の新たな計画として発表致します。

その前に、年頭に例年通り桐生タイムス紙に年賀広告を掲載した事を報告致します。

新しい計画ですが、3月20日(金)に行われる予定の「ロータリーデー」の広報・告知活動です。桐生西ロータリークラブ・桐生赤城ロータリークラブ合同の「ロータリーデー」、そして桐生西ロータリークラブ第2100回例会記念事業、桐生西ロータリークラブ創立25周年記念事業と、複数の大きな冠のついた行事で、著名講師を招き記念講演会を行います。講演会は一般公開致します。この事を桐生タイムス紙に広告を掲載し、また、関係各団体等にチラシを1,800枚程配布し、告知・案内を予定しています。この事業を広報活動の立場から協力して行く計画です。

以上です。今後共、皆様のご協力をお願い致します。



幹 事
横 塚 直 人

向田会長のクラブ活動方針に則り、会員組織委員長の新田さんを筆頭に、皆様のお力添えを頂いて、2014年7月1日時点53名であった会員が、2014年12月末では62名となり、9名増員されました。また、今時点では65名となり、12名増員されました。会員が増えることによりクラブの活性化につながっています。

先輩達からロータリークラブの厳しさ、結束の強さ、そして何より友情を肌で感じられます。また、会長からは折角縁があって入会して頂いたので、なるべく役をやって頂き、飲み会もやろうと言われていました。

上期の各例会も滞りなく行えました。幹事としてはどうしても仕事の都合が付かず、その都度、乾副幹事をお願いをして代行して頂きました。誠にありがとうございます。

下期の行事も、2月21日(土)にIM、3月20日(金)は第2100回例会の記念事業に絡めて、赤城ロータリーと合同でロータリーデーとして講演会を行います。そして春の家族旅行があり、6月末のさよなら例会まで、楽しい例会が出来るように、関係各位の更なるご協力をお願いします。

あと半年、しっかり学びながら、伝統ある桐生西ロータリークラブ43代目幹事として、恥じないようなクラブ運営が出来るよう、邁進していく所存であります。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。

新 会 員 卓 話



野 村 滋 君
(ホテル業)

「大工を夢見た少年が
ホテル業になるまで」

私の職業分類は「ホテル業」ですが、私のことを皆様にお話しますには、前職の建設業の話からさせて頂かないと話が繋がりにませんので、40年余り関わった建設業の話から、入らせて頂きます。

私は、1949(昭和24)年生まれの65才であります。私の小学校・中学校時代は昭和30年代で、第一次高度成長期の最中でした。大安の日にはいたる所で建て前を見ることが出来ました。学校に行くときは基礎だけしか無かったのに、帰りには殆ど骨組みが出来上がっている。あのスピード感に憧れ、小学4年生の時に大工になろうと決心しました。

そして、私は東京オリンピックの年に桐工の建設科に入学したのであります。入学すると直ぐに土木と建築にクラス分けするのですが、入学した生徒の殆どが工務店や左官屋、建具屋や材木屋の息子ばかりで、土木を専攻する者が殆ど居ないのであります。困り果てた先生の顔が余りにも可哀想だったので、男気を出して、何と土木に手を挙げてしまったのであります。

この選択が私の人生最大の岐路でありました。15歳の少年には、土木と建築の違いが良く解らなかったのだと思います。就職先は、一部上場会社の奥村組という土木会社でありました。

二十歳の誕生日は、トンネルの中でマッチ棒を燃やして静かに迎えました。トンネルの中で考えました。「大工にはなれなかったけど、故郷に帰って独立しよう」と誓いました。それから石の上にも三年務めて、奥村組を退職致しました。

画して1970(昭和45)年4月、中古の軽四輪1台と中古の2tダンプ1台、作業員4人で、「野村工事」を立ち上げました。この日の日記には「天下を取る」と書いてありました。恐れを知らない21歳の若者は、あの頃、何を考えていたのか、未だにわかりません。

この頃の建設業は第2次高度成長期で、仕事はたくさんあったのですが、技術者不足で、測量が出来て丁張が出せる技術者のいる下請けは少なく、測量が出来た私は、率の高い仕事を優先していただけました。

40年余りの建設屋人生で一番儲かった時代でありました。勿論、仲町デビューは21歳で、毎日の様に札びらを切って飲み歩いておりました。「あの頃使ったお金を貯めていれば」と、今つくづく思います。

兎も角、目標は公共工事を受注できるメジャーな会社になる事でした。創業2年10ヶ月で、株式会社野村建設工業を資本金250万円で設立しました。23歳の時であります。

この頃、福島賢一さんという若い異色の役人との出会いがありました。業者の痛みを理解できるバリバリの技術屋で、この人が建設部長になり退職するまで、言葉では言い尽くせない程の面倒を見てもらいました。

同時期中野幸三郎さんという人との出会いもありました。非力で仕事がなかなか取れない私に、宅地造成工事や不動産の係る仕事を特命で与えてくれました。中野さんとは、平成元年には共同でKRゴルフセンターを開設し、一昨年8月まで25年間、一度もケンカせずに来て参りました。中野さんからは、人を許すことを教えて頂きました。

25歳の時に七五三木正さんと青年会議所で知り合い、以後40年余り、親分子分の関係が続いております。この半年間で、私のロータリー入会祝いを3回もやって頂いております。念のため一言申し添えますが、親分が七五三木さんで私が子分であります。

この様に、たくさんの人達に面倒を見てもらいながら、徐々に国や県、町村、個人や企業、大手建設会社から工事の受注が出来るようになりました。

それでも家造りへのこだわりは捨てきれず、創業から20年目に建築部から住宅部を独立させ、のめり込みました。10年程前に建てさせて頂いた当クラブ某会員のご自宅は、住み心地の良さとことごとこだわった家の一つであります。今でも新築祝いの日にお客様から頂いた感謝の手紙は、居間に飾ってあります。

私が建設会社の社長を務めた39年の間に力を入れた事は、大きく分けて2つあります。

一つは、乗り遅れた建設業の作業効率の向上でありました。例えば1m84cm以上の身長の大工の養成であります。一般の住宅は天井高は2m40cmですから、1m84cm以上の大工であれば、足場無しで一番上の釘を打つことが出来、労務費が30%削減できます。もう一つ例を挙げれば、定尺のもので割り切れる大きさのものを造る事です。例えば、日本の定尺は90cm、180cm、240cmですから、天井高250cmの設計をされますと240cmのボードを10cm切る手間が掛かり、たとえ10cmでも、4隅に釘を打たなければ固定できません。240cmのボードでも釘4本で固定できるのです。しかも余った230cmは無駄になってしまうのであります。それは、U字溝やヒューム管にも同じことが言えるのであります。この様に徹底して作業効率を高め、下請けさんを泣かさずに利益を上げる事に努めました。

失敗も沢山あります……………。

二つ目は、矛盾した建設業界の常識との戦いでありました。「クジラとメダカの食いは違う」という言葉が公然とまかり通る業界の常識の中で、業界のボスと一人で戦うこと20年。お蔭様で何とか生き延びております。

長男が入社して10年になった日に社長職を交代しました。6年前のことです。長男が34歳、私が59才の時でありました。小さいながらもトンネルも砂防ダムも橋もビルも、そして天下は取れなかったけれど、こだわり続けた住宅も、元請で施工することが出来て、思い残すことは何もありませんでした。

ホテルは、40代の中頃、あるホテル王の小説を読んだ時から憧れ、人生最後の仕事はホテル業と決めておりました。思い入れの深さとその思いを持ち続ける時間の長さに、神様は必ずチャンスを与えてくれるのであります。8年前に土浦駅前に地上9階地下2階建て161室のベルズイン土浦をリニューアルオープンし、5年前には、前橋駅前に地上11階建て120室のカントリーホテル前橋をオープンすることが出来ました。両ホテルとも客室稼働率は80%を超えており、まずまずの成果を上げております。

ホテルと言えども所詮は宿屋であります。今流のホテルのコンセプトの殆どが、お客様へのサービスの高度化であります。私共のホテルの理念は「一晩のお客様の命をお守りすること」にあり、次にサービスで

あります。それは、童話の鶴の恩返しやゴン狐のお話に有る様に、寒くて食べる物も無く死んでしまいそうな時に、泊まる場所と温かいご飯を与え、その人の命をお守りする事が、宿屋の原点であると考えているからであります。

従いまして、3.11の日には、揺れの酷かった土浦では全てのホテルや駅が閉めてしまった中で、行き場の無い人達を全て無料で受け入れ、食事も提供いたしました。今でも感謝の手紙やわざわざ泊りに来て下さる人がいらっしゃいます。

ホテルには毎日ドラマがあります。土浦にはデリバリーヘルスの会社が200以上あります。その撃退話やら、家族と折り合いが悪く年間を通して泊まっていた小父さんの話とか、有名な女優さんが泊まった話など、毎日11時に送られて来る日々の報告は、まるで小説であります。ホテルの面白さは10分や20分では語り尽くせませんので、次回何らかの機会がありましたら、お話させて頂きます。

50年前、大工に成ることを夢見た少年が、ホテルに辿り着くまでの最大の転換点は、高校1年の時、間違って建築ではなく、土木を専攻してしまった事にあります。あの時、建築を専攻していれば、間違いなく大工になっていたと思います。その間違いに感謝しながら、私の話を終わりとさせて頂きます。

ご清聴ありがとうございました。

理事会報告 1月23日

1. 石川忠正君の退会届を受理。
2. 忘年家族会決算報告承認。
3. 忘年家族会での募金と抽選会売上金は現在計画中のタイ・ティンタインガムRCとのグローバル補助金に充てる。
4. IMの第1分科会シニアメンバー講師に金子福松君を、第2分科会の報告者に家住慧路君を推薦する。
5. 3月20日のロータリーデー詳細とチラシ配布の件承認。
6. ロータリーデー後の桐生赤城RCとの合同夜間例会の内容承認。
7. マイトリー大間々南幼稚園へ書籍購入資金贈呈承認。
8. 予算執行状況の確認。

(株) ホ シ ケ ン

代表取締役 星野幸男

太田市清原町5-10 太田流通団地

TEL 0276-37-8300

桂 建 設 (株)

取締役会長 家住慧路

みどり市笠懸町阿左美763-2

TEL 0277-76-7723

《次例会予告》

2月6日(金) 新会員卓話

下城サト子さん、佐々木綾子さん